学校番号	T3011

令和８年度　工業科（A 系列）

教科	工業	科目	（学）自動車実習Ⅲ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	自動車整備士養成課程　三級自動車整備士（総合）　（日本自動車整備連合会）						
副教材等	「自動車整備」（実教出版）、「自動車工学１」（実教出版） 「自動車工学２」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習Ⅰ・Ⅱを通じて学んだことを生かし、自動車整備作業に必要な知識・技術を学ぶ

2　学習の到達目標

【知識及び技術】 自動車の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自動車の各分野の技術に関する課題を発見し、自動車に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術 の進展に対応し解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自動車の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、自動車の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	受講には 2 年の『自動車実習(自動車実習Ⅰと自動車実習Ⅱ』を修得していること。 本科目が未修得である場合には、三級自動車整備士免許技能試験免除資格は付与されない。 車体やエンジンの分解・洗浄・組み立て・調整など自動車整備作業に必要な基本を学ぶ。	安全な作業が行える。冷静に安全な判断とともに、新しい発想力を身につける。	調整等では主体的に取り組み適切なバランスを取り、組み立てる。 実習においては自ら考え、調整し主体的に取り組む。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期		ステアリング装置やブレーキ装置の 分解整備を行う	a:構造を理解し作業ができているかどうか b:適切な工具を用い安全に留意し作業ができているかどうか c:自ら進んで作業にとりくんでいるかどうか	正しく理解し作業できているか	適切な工具の使用ができているか	自分から進んで作業し安全に留意できているかどうか
		エンジンテスタによるガソリン機関の 計測調整を行う	a:仕組みを理解し適切な作業ができているかどうか b:正しい工具の使用ができているかどうか c:自分で考え調整を行えているかどうか	正しい作業ができているか	適切な工具のしようができているか	自分から進んで作業し自分で考えて取り組むことができているか
後期		電装品の点検整備を行う	a:正しい工具の使用ができているかどうか b:適切な作業を行えているかどうか、 c:自分で考え進んで作業ができえているかどうか	正しい作業手順で取り組むことができているか	適切な工具の使用ができているか	自分から進んで安全に留意し作業ができているか
		フライスとエンドミルの切削理論を 学習し、安全な工作法を 習得する	a:正しい工具の使用ができているかどうか b:適切な機械操作ができているかどうか c:自分から進んで作業に取り組み安全に留意できているかどうか	正しい機械操作ができているか	適切な加工方法で作業ができているか	自分から進んで安全に留意し作業ができているか

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度